

レジメン名 (治療名)						
nal-IRI+5FU/LV						
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分			
膵癌	nal-IRI+5FU/LV	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他		
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)	
1	アルブミン懸濁型イリノテカン 【nal-IRI】	70mg/m ² (*50mg/m ²)	点滴静注	90分	Day1	
2	レボホリナート【l-LV】	200mg/m ²	点滴静注	2時間	Day1	
3	フルオロウラシル【5FU】	2400mg/m ²	点滴静注	46時間	Day1-2	
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		2-3週間				
総コース数及び総投与量の限界		PDまで				
プレメディケーション ポストメディケーション		オンダンセトロン、デキサメタゾン、アプレピタント				
禁忌事項		腸管麻痺、腸閉塞、多量の腹水・胸水、間質性肺炎、感染症合併、アタザナビル投与中の患者				
備考		<p>・(6)はHOME POMP C-SERIES C100020を使用。</p> <p>投与時間が56時間を超える場合は、自己抜針を行って良い。</p> <p>・70mg/m²で初回投与を行う場合は、UGT1A1遺伝子変異の実施。変異を認めた場合、50mg/m²で開始。忍容性あれば70mg/m²へ増量可。</p>				

《投与順》

(1) 生理食塩液	50mL		
デキサメタゾン 8mg	2V		
オンダンセトロン 4mg	1A		15分
(2) 5%ブドウ糖液	500mL		
アルブミン懸濁型イリノテカン	70mg/m ²		2時間
(3) 生理食塩液	50mL		5分
(4) ソルデム 3A	200mL		
レボホリナート	200mg/m ²		2時間
(5) 生理食塩液	50mL		5分
(6) フルオロウラシル	2400mg/m ²		
生理食塩液と合わせて	全量 95mL		46時間
(7) 生食ロック			10mL
内服制吐剤：アプレピタントカプセル 125mg	1Cap 分 1	1日分	
アプレピタントカプセル 80m	1Cap 分 1	2日分	